

滋賀大学環境総合研究センター

研究年報

第4巻第1号(通巻第4号)2007年3月

Science for Environment & Sustainable Society

特集論文：エコロジカル・フットプリント指標の現状と課題

- Current Methods for Calculating National Ecological Footprint Accounts
Justin Kitzes, Audrey Peller, Steve Goldfinger, Mathis Wackernagel 1
- エコロジカル・フットプリント指標分析の方法論的進歩と最近の論点
中野 桂・和田 喜彦 11

論文

- 滋賀県における食の安全を求める草の根グループとその学習活動
「暮らしを考える会」を中心として 藤田 弘之 23
- 町並みの評価に潜在する既存住宅のストック化の可能性 山崎古都子・足立智也子 37

研究ノート

- 住宅ストックのフロー化の可能性 山崎古都子 55
- 参加体験型環境教育アクティビティ「色こびとのくに」の開発 市川 智史 67
- 農村共有資源管理のための共同行動：滋賀県の農業集落を対象として 藤栄 剛 73

報告・資料

プロジェクト研究活動

- 幼稚園・小学校・中学校の子どもの環境認識の発達と環境学習に関する研究
- 高度経済成長と地域生活空間の変容 日韓比較
- 水辺エコトーンにおける生物多様性と生業活動・コモンスの変容に関する研究
- 減災ネットワークの育成に関する研究と活動
- キャンパスを活用した自然体験型環境教育プログラムの開発
- 安全・安心の米作り営農技術に関する産官学連携研究
- 琵琶湖・淀川流域と韓国・洛東江流域を素材にした流域管理政策の日韓比較研究
- びわ湖に流入する河川水の分散機構
- 農業環境政策の制度設計
-